

さわやかな秋の一日を共に過ごす

佐久穂町イエナプラン スクール設立準備新聞

第七号
発行元
一般財団法人佐久穂町
イエナプランスクール
設立準備財団

「秋のがっこう」を
開催しました。

佐久穂周辺の山々が秋の色に染まり見事な青空に映える日曜日、八千穂福祉センターにて「秋のがっこう」が行われました。

「共に生きる」をテーマに、子どもも大人も、自分と他者を意識しながら、午前中はブロックアワー、午後はワールドオリエンテーションと催しを体験しました。

今回は、四歳から小学校五年生までのお子さまが三八名、保護者の方が六四名プログラムに参加してください、プログラムをサポートしてくださった方やスタッフを合わせて約一三〇名が集まりました。

子どもも大人も同じように学び、同じように発表し、



お互いの違いを知ったり、お互いに協力したりすることで、「共に生きる」とは何かを考える一日になりました。

今回の開催にあたり。会場を提供してくださった八千穂福祉センターの皆さま、佐久穂町役場、地域おこし協力隊、地域の皆さまにはさまざまなお面でご協力をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

子どもプログラム

四歳〜六歳

四歳から六歳の未就学児の子どもたちは三つのグループに分かれて活動しました。自分自身を知り、他者を知り、世界に目を向けるといふ大きなテーマを一日で体験するのは難しいなあと思いつつも、小さなきっかけになれば、と活動を計画していきました。始まりのサークルで自己紹介の後、自分の好きなこと、いいなど感じることを表現するきっかけ作りとして、絵本の『なんだかうれしい』の読み聞かせからスタート。模造紙の上でポーズをとって、身体の形を描き合い、自



分の身体の形の中に自分の『なんだかうれしい』を表現しました。電車やお花、お友達、思い思いの表現が並びました。午前の終わりに、午後の活動のために、落ち葉や木の実を集めにお散歩に出かけました。

午後は、同じグループメンバーのことを知るためのあそびから始めました。サークルになって座り、「今日車で来た人」「最近悲しいことがあった人」などの質問で、該当する人が立ち上がるあそびです。質問を合うことで、お互いのことを少し知ることができました。

その後は、午前中に描いた自分の形の外側に、自分の周りの世界を飾り付けし

ていきました。実は、午前中のプログラムが始まってすぐと、午後のあそびが終わった後に、チームごとに集合写真を撮っていただきました。それを印刷して飾り付けの一部にしたのですが、子どもたちの表情の変化にびっくり。みんな表情が柔らかく、笑顔になっていました。お互いを知り合うというのは、一緒にいる時間を楽しく豊かなものにしてくれるのだと気付かされました。



子どもプログラム 小学生

小学生は「オオヒナタン」と「ヤッチホー」の二つのグループに分かれて活動しました。

友だちはどんな子かな、

周りの大人はどんな人かな。表情からもドキドキワクワク感が伝わってきます。自分と他人、自分の住む地域と佐久穂町の違いに目を向ける、そんな学びの一日がスタートしました。

午前中はみんなでゲーム。動いて声を出して笑ってだんだんと一緒に過ごす仲間を意識し、自己紹介では自分の好きなものや今日はどこから来たかなどをしゃべりすることで、他人をだんだんと意識し始めました。そして、目の前にある地図や粘土などを見つければ、今日は地図作ることかな？と予想し始める子どもたちもいました。



グループリーダーから「これから散歩に出て自分の町と佐久穂の町を比べて、面白いものワクワクするものを見つけたらカメラで撮影して、立体地図にしてみんなに教えてあげよう！」と説明。そして、八千穂駅を目指し、みんな取材にでかけました。

カメラ片手に面白いものを次々に撮影、木でできた塀、屋根の上の瓦、その両端にある鬼瓦。造り酒屋の軒先にぶら下がる杉玉や水路から流れる滝。ふと足元をみると裾にコセンダン草(通称ドロボー草)がいっぱい。それ

を取るのにさあ夢中。

古物が置いてあるお店を見つければ店内に入ると、店主がいろいろ説明してくれました。外では元気なみなさんもお店の中では静かにお行儀よく聞いていました。

午後は見つけてきた面白いものを立体で再現し、

佐久穂町3Dマップを作りました。グループリーダーがランチタイムにプリントした写真を一枚一枚見て、どれをどう作ろうかと想像を膨らませます。中には面白いものがありすぎて何にしようかうんざり悩んだり、滝を作りたいけど一体



どうやろうとかと試行錯誤したり。友達と一緒に考えて作ったり、杉玉を粘土と土とボンドで失敗しながら工夫して表現したり、紅葉した山が大量の粘土で重くなったので、カラ容器を芯にしてそれを粘土で覆って表現したりとみんなさまざまな工夫を考えていきました。

外では、見て面白いものや見たことがないものを探していました。なぜこうなっているのか、どうしてこんな形なのかとだんだんと自分の中で疑問がわいてきて、お店の方に訪ねてみたり、リーダーや友だちと一緒に考えてみたりするうちに、だんだんと違いに気づいてきたようです。

大人プログラムと 全員での「催し」

今回の秋のがっこうの「大人プログラム」では、前回同様、保護者の皆さまにも子どもたち同様にイエナプラン教育を実際に体感できるように、午前中はブロックアワー、午後はワールドオリエンテーションの一部をそれぞれ体験いただきました。

午前中はブロックアワーです。①佐久穂町のしごと ②佐久穂町の住まい ③佐久穂町の農業 ④イエナプランの理解 これら四つのプロジェクトからそれぞれ学びたいテーマを自ら選択して取り組んでいただきました。

それぞれのプロジェクトには、「学ばなければならぬこと」が提示されており、自らが学びたい方法で学ぶ個別学習の時間です。

各プロジェクトには、佐久穂町役場の移住支援担当の方、地域おこし協力隊の方、八千穂周辺で農業を営んでいる方や、日本イエナプラン教育協会の代表などの皆さまにサポートに入っていたいただきつつ、書籍やインターネットなどを活用しながらそれぞれで学ぶ時間となりました。短い時間ではありましたが、各プロジェクトで学んだことが、それぞれ新聞やポスターのよきな形となり、それを会場に掲示することで互いの学びをお昼休みに共有することができました。



午後はワールドオリエンテーションです。午前の各プロジェクトで学んだことを持ち寄り、七人八人ずつのグループに分かれて「大日向小学校を『誰もが豊かで幸せな世界をつくる学校』にするために私たちができること」というテーマで話しあっていたいただきました。

午前も午後もテーマだけが決められており、そのプロセスについては明確に何が決まっているわけではないので、保護者の皆さまの中にも初めは戸惑いを感じられることもあったかもしれません。実際のイエナプランスクールにおいても、子どもたちも試行錯誤しながら時間をかけて学ぶ方を学んでいくことになりましたので、そういった面をまずはご体感いただけたら、とても嬉しく思います。

催しでは、まず大人プログラムに参加していた保護者の皆さまから「今日一日



過ごして感じたこと」を話していたいただきました。

今回は、ぜひ自分が話したいと手を挙げてくださった三名の方が舞台上上がって話してくださいました。

「イエナプランや佐久穂の仕事や住まいについても学び、参加者同士で学んだことを共有していくことで、理想と現実の違いが見えてきた部分もあります。だからこそ、地域の方々や保護者同士が共に助け合ったり話し合ったりしながら進んでいくことが大切なのだと感じた一日でした。」と話す保護者の姿に、子どもたちの拍手と笑顔で応えていたのがとても印象的でした。

「ごっさんの学校現場レポート



皆さんこんにちは！ 後藤です。こちら旧佐久東小学校はリフォーム真っ最中です。

の様子をお伝えします。

一階の教室の壁がなくなっています。二階の教室もキレイさっぱり壁が撤去されています。教室内にあった黒板やロッカーもなくなっています。教室にはストープしか残っていませんね。廊下からあらためて全体を見てみると、明るくて開放感あふれる風景になっています。今はまだ閑散としています。完成すれば、子どもたちが居心地良く過ごせるリビンググループのよきな空間に生まれ変わっていることでしょう。

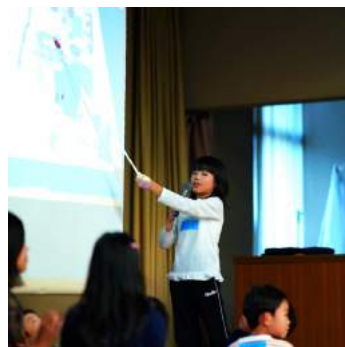
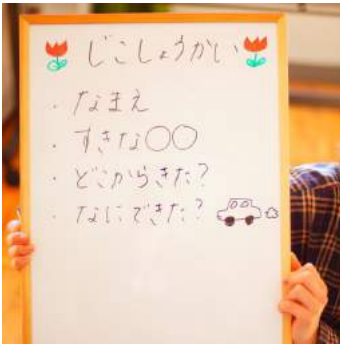
お初にお目にかかる方も多いと思います。この十月から佐久穂町イエナプランスクール設立準備財団で仕事をしている後藤資幸（ごとうともゆき）と申します。「ごっさん」と呼んでください。学校の設立趣意にあるとおり「誰もが、豊かに、そして幸せに生きることのできる世界をつくる」ために隣の小海町から通勤しています。

紅葉がともきれいな現場にも、まもなく冬がやってきます。手がかじかむ寒さの中、現場の皆さん仕事を進めてくださるので、非常に心強く思います。

旧佐久東小学校の校舎が、みんなが使いやすいくて心地よく過ごせる空間に生まれ変わろうとしています。どんな学校になっています。今回の、工事中の校舎内

くのか楽しみです。

秋のがっこう 写真館



ご協力いただきありがとうございました！

八千穂地区周辺の皆さま・千曲病院の看護師の皆さま・佐久穂町の皆さま
 佐久穂町役場 総合政策課の皆さま・地域おこし協力隊の皆さま・健康福祉課の皆さま

11月25日(日)「大日向交流会」が開催されます



十月中旬から山が秋の色に染まり始め、十一月に入り紅葉のスピードも一気に増している感じがです。家々の軒下でも干し柿をつるすお宅がちらほらと見え始めています。

学校にある立派なイチヨウの木は、今年もたくさんの実を付けました。ぜひ、銀杏を拾いにいらっしやってください。

さて、十一月二十五日、旧佐久東小学校体育館で、地域の皆さま同士の交流を目的とした「大日向交流会」が開催されます。

時間は十一時～十三時、大日向の恵みコーナーやステージパフォーマンスもあります。皆さまぜひご参加ください。

【お問合せ】 佐久穂町イエナプランスクール設立準備財団 事務局
 メール： info@sjsef.jp 公式ホームページ： <http://sjsef.jp>